

2021年度 第2四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2020年度	2021年度	前年同期比
売 上 高	19,420	20,329	+ 909
営 業 利 益	2,792	3,361	+ 568
経 常 利 益	2,900	3,498	+ 597
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,252	1,767	+ 514

為替レート

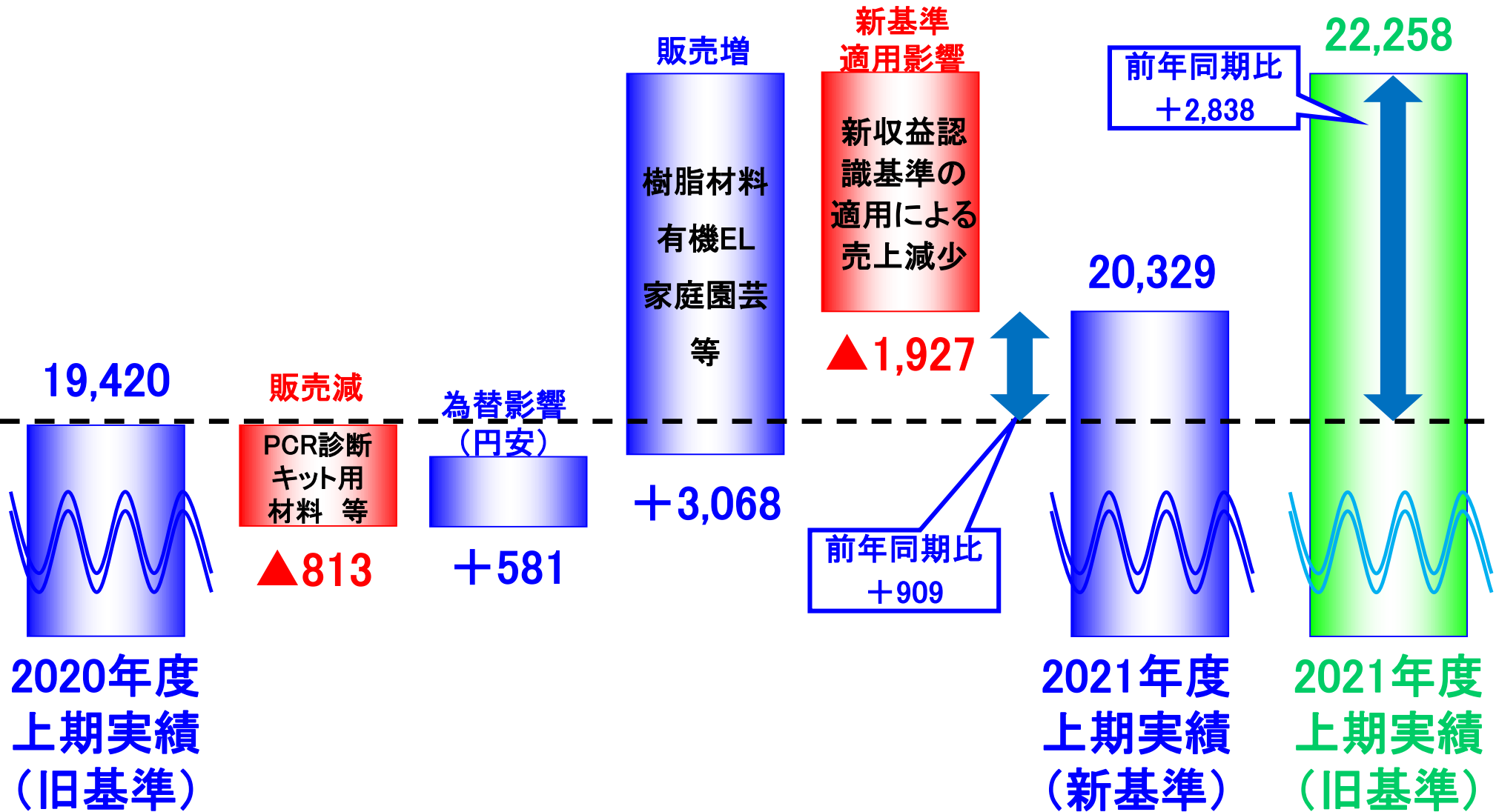
\$=106.33円
W=0.0888円

\$=110.13円
W=0.0965円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・2022年3月期の期首より
「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号)等を適用
 - 2021年3月期:適用なし
 - 2022年3月期:適用あり
- ※当該基準適用により、
当第2四半期連結累計期間の売上高は
1,927百万円減少し、
営業利益は31百万円増加し、
経常利益は36百万円増加しております。

(単位:百万円)



- ・**売上高**は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等の適用により減少したものの、
機能性色素、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連が増加し、
909百万円の増収
- ・**営業利益**は、売上高の増加等により、
568百万円の増益
- ・**経常利益**は、営業利益の増加により、
597百万円の増益
- ・**親会社株主に帰属する当期純利益**は、
経常利益の増加により、**514百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2021年 3月末	2021年 9月末	増 減
(流動資産)	300	314	+13
現預金	94	115	+20
売上債権	120	106	▲13
棚卸資産	83	88	+5
その他	3	3	+0
(固定資産)	325	325	+0
有形・無形 固定資産	228	229	+0
投資有価証券	82	82	▲0
その他	13	13	▲0
合計	626	640	+13

科目	2021年 3月末	2021年 9月末	増 減
(負債)	189	185	▲4
仕入債務	41	45	+3
有利子負債	74	68	▲5
その他	73	71	▲2
(純資産)	436	454	+18
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	141	156	+15
その他	96	99	+2
合計	626	640	+13

財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	62.5%
・D/Eレシオ	0.19倍	⇒	0.17倍

有利子負債 74億円 ⇒ 68億円

現預金 94億円 ⇒ 115億円

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2020年度	2021年度	前年同期比
機 能 性 色 素	8,337	9,073	+ 736
機 能 性 樹 脂	4,737	5,067	+ 330
基 礎 化 学 品	3,352	3,379	+ 27
アグロサイエンス	2,049	1,842	▲ 206
物 流 関 連	860	876	+ 16
そ の 他	82	88	+ 6
合 計	19,420	20,329	+ 909

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

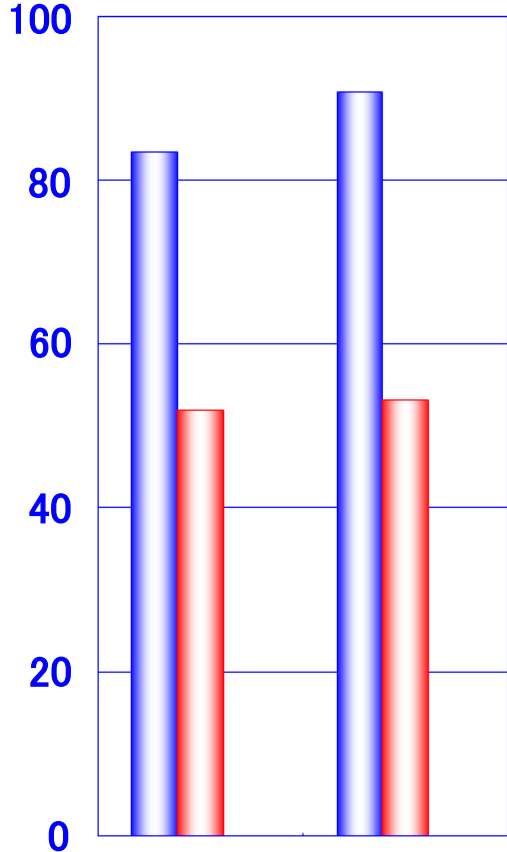
セグメント	2020年度	2021年度	前年同期比
機能性色素	2,634	2,660	+ 26
機能性樹脂	49	343	+ 293
基礎化学品	9	118	+ 109
アグロサイエンス	▲ 71	73	+ 145
物流関連	155	150	▲ 5
その他	14	14	+ 0
合計	2,792	3,361	+ 568

売上高
(億円)

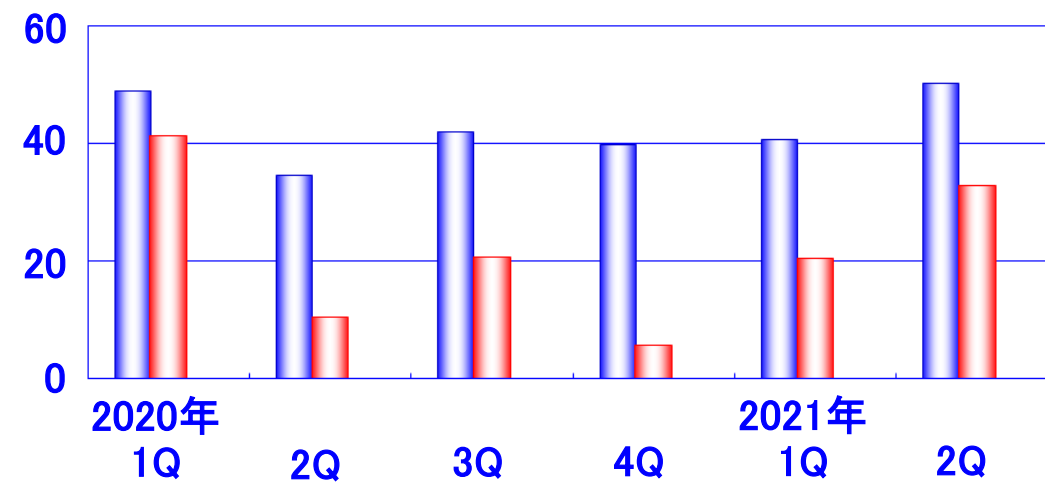
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)

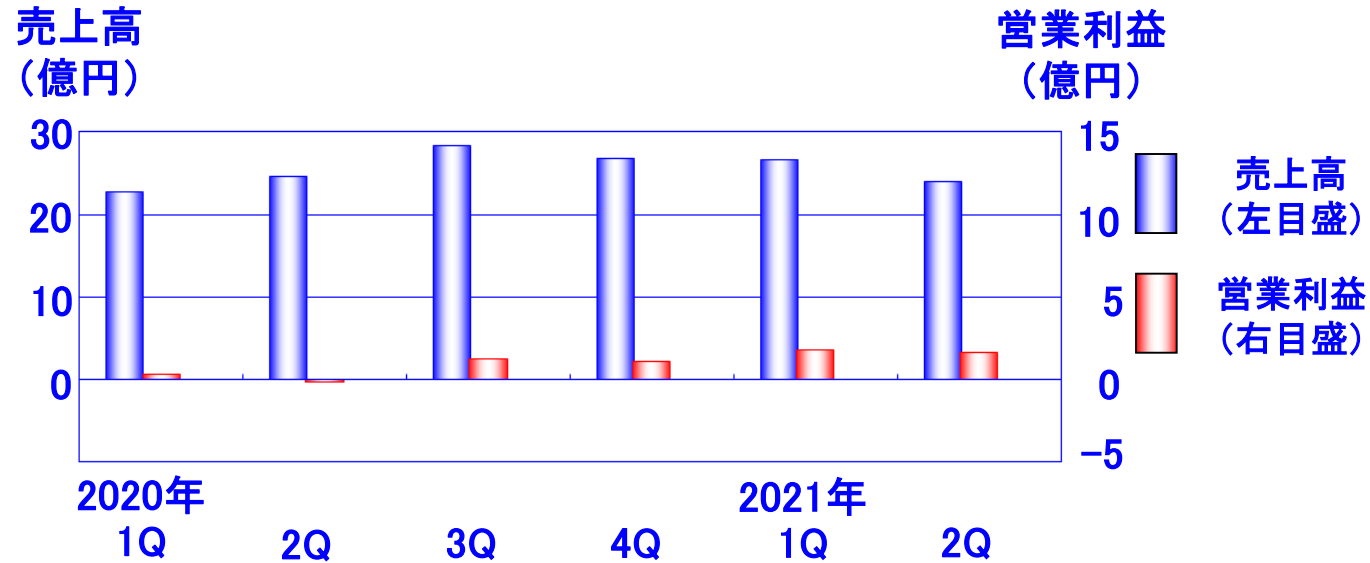
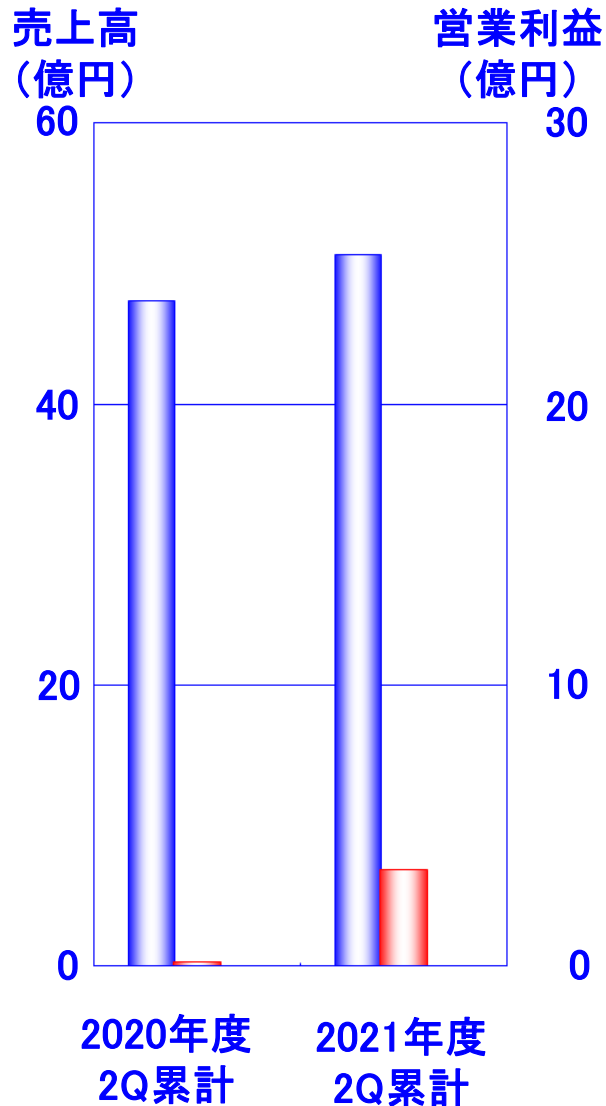


2020年度 2Q累計 2021年度 2Q累計

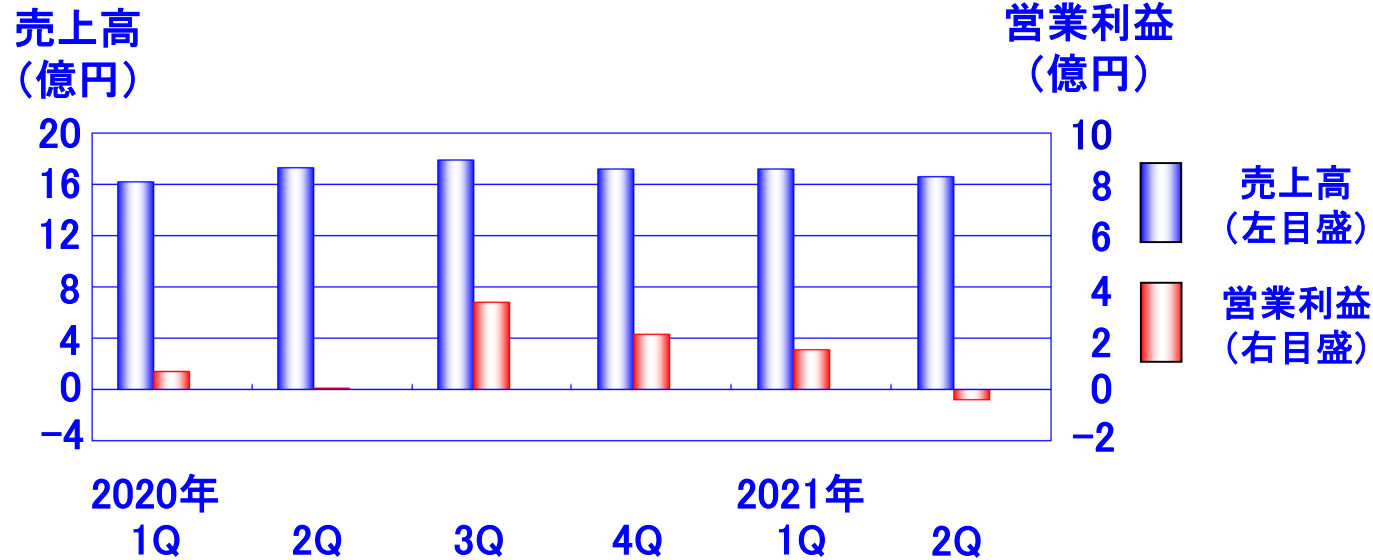
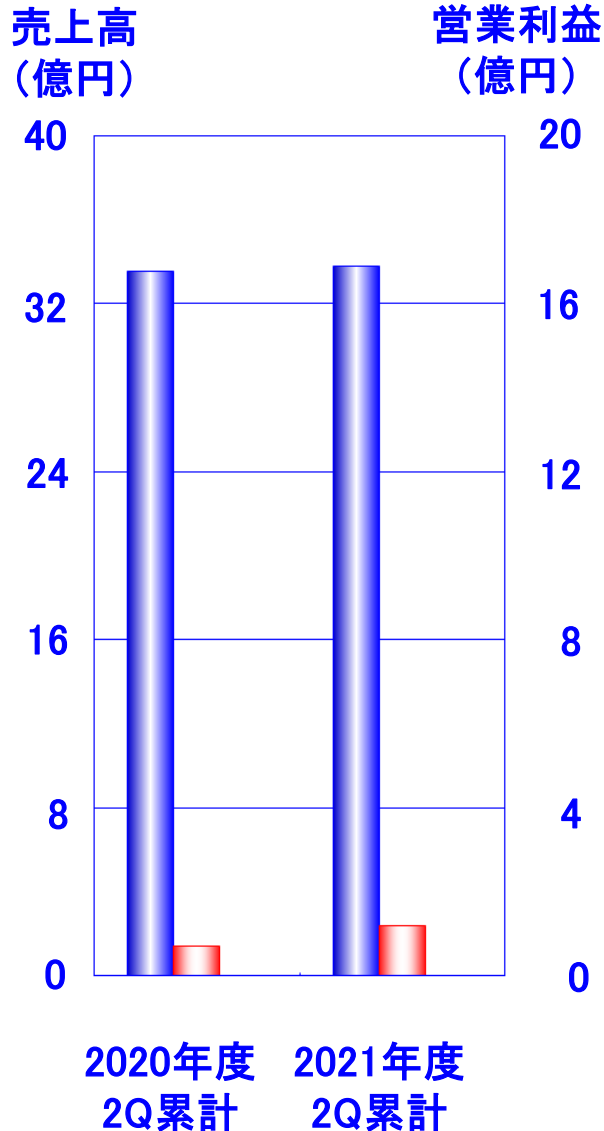


売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> 当社の子会社におけるPCR診断キット用材料で、前年度第1四半期での特需は収まったが、安定して販売を継続。加えて、スマートフォン向けディスプレイ分野において、有機ELパネルの需要が引き続き増加し、有機EL材料事業全体としては大幅な増収 	↗
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が増加したことに加え、繊維向け染料の需要が回復したことにより、大幅な増収 	↗
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> プリンター向け材料の需要が段階的に回復したことにより、大幅な増収 	↗



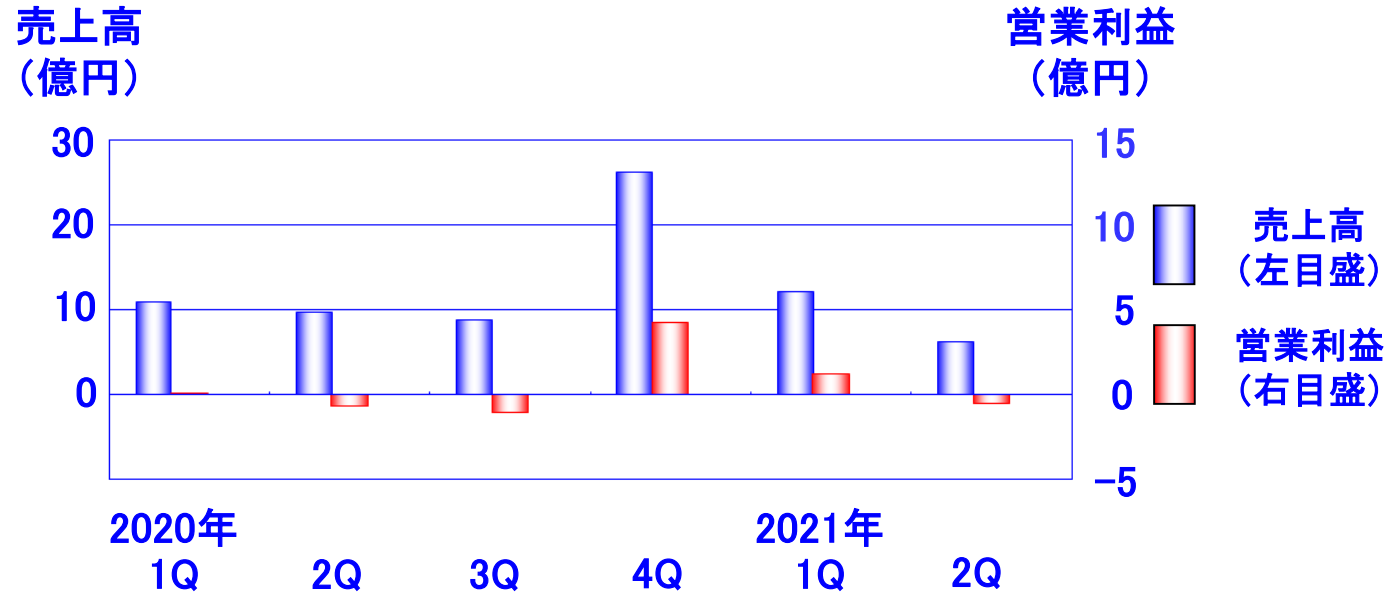
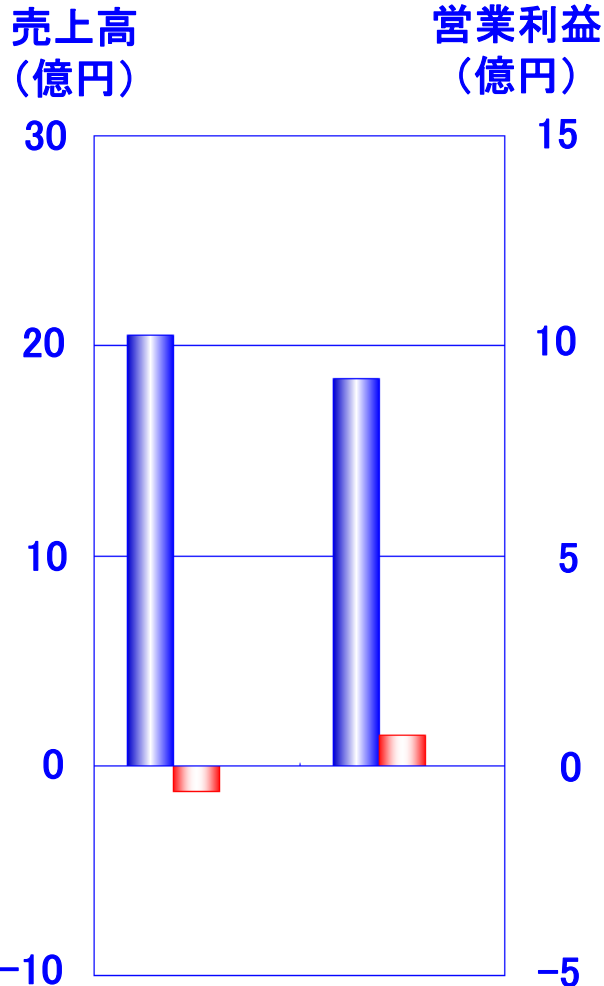
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン原料は原材料の高騰に伴う値上げや、タイヤ用接着剤はコロナ禍からの需要回復等に伴い、大幅な増収 	↗
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収 	↗
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料販売や防水工事向けで、前年度のコロナ禍からの需要回復等により、大幅な増収 	↗



過酸化水素
及び
誘導品（※）

・過酸化水素誘導品は、飲料ボトル洗浄向けや内視鏡除菌向けがコロナ禍での需要減から回復したものの、衣料用漂白剤や家庭用洗浄剤向けで一部設備の制約による生産量の落ち込みにより、減収。
一方で、過酸化水素は、紙パルプ向け等の需要がコロナ禍から回復したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、大幅な増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・家庭園芸向け除草剤の需要は引き続き拡大しており、増収となったが、ゴルフ場向けは顧客での在庫調整等により大幅に減少しており、減収

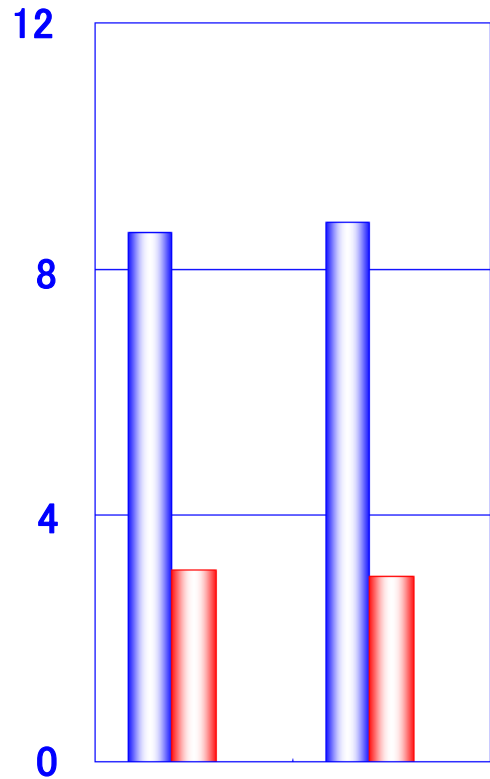
2020年度 2Q累計 2021年度 2Q累計

売上高
(億円)

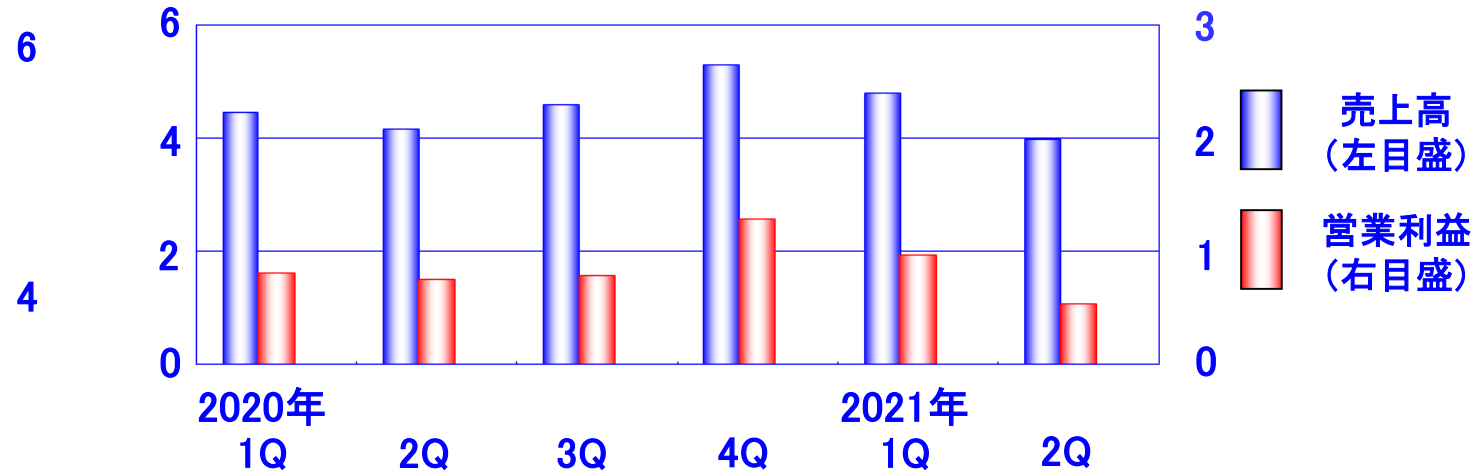
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2020年度 2Q累計 2021年度 2Q累計



物流関連 ・コロナ禍からの経済活動再開に伴い、輸出の取り扱い量が引き続き堅調に推移し、前年同期並み



2022年3月期通期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年5月14日発表)	34,500	2,500	2,500	1,400	176 92
今回修正予想 (B)	40,000	5,000	5,000	2,500	315 75
増減額 (B-A)	5,500	2,500	2,500	1,100	—
増減率 (%)	15.9	100.0	100.0	78.6	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期) (旧基準)	41,199	5,444	5,841	3,119	394 25

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を
2022年3月期連結会計期間の期首から適用しております。

修正の理由

第2四半期連結累計期間において、有機ELやアグロ事業の販売が堅調に推移し、また、韓国子会社SFCのPCR診断キット用材料も、安定した販売が継続していることから、連結業績が当初の予想を上回る結果となりました。第3四半期以降につきましては、世界的なエネルギー資源高に加え、中国の電力不足や国際物流網の混乱により、原燃料価格の上昇や原燃料の調達に困難が伴うなど、先行き不透明な状況ではありますが、第2四半期までの業績を踏まえ、2022年3月期通期の業績予想について前記のとおり上方修正いたします。

(単位:円)

	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2021年度 (予想)
中 間	25.00	30.00	
期 末	25.00		30.00
合 計	50.00		60.00

- ・2020年度比 年間10円／株の増配予定
- ・2021年5月14日に公表した配当予想より、変更なし

以 上